

力の限り跳んで、走って、応援して 限界に挑む「喜多郡小学校陸上競技大会」

力で挑みたい」と選手宣言。応援席からは児童や保護者から温かい声援が送られていました。各種目の優勝者と記録は下記の通りです。

種目名	氏名		記録
60メートル走	男子	池田 琉空(内子)	8秒9
	女子	福岡 愛莉(内子)	9秒2
100メートル走	男子	中越 一真(天神)	14秒3
	女子	福岡 愛莉(内子)	14秒9
60メートルハードル	男子	藤岡 弘輔(内子)	9秒6
	女子	菊地 帆乃(内子)	11秒0
走り幅跳び	男子	植田 健太(内子)	3メートル97
	女子	二宮なつめ(小田)	3メートル45
走り高跳び	男子	山内 溝汰(五十崎)	1メートル25
	女子	藤島 梨音(五十崎)	1メートル20
ソフトボール投げ	男子	安藤 翔太(内子)	47メートル07
	女子	中川 智愛(五十崎)	46メートル75
400メートルリレー	男子	内子小学校	58秒2
	女子	天神小学校	1分2秒7



上_追悼の歌を捧げる内子中学生 下_祭壇に
献花して 故人の冥福を祈る参列者

戦争で亡くなつた人を悼み、平和を祈願する「内子町戦没者慰靈祭」が10月7日、内子東自治センターで行われました。

式では小野植正久町長が「戦没者や残されたご遺族の悲しみに思いをはせ、平和の実現に努めたい」と哀悼の言葉を述べ、続いて遺族代表の藤浦利通さんが「私が4歳の時に戦死した父。一緒に過ごし、杯を交わしたかつた。戦争は許されない愚

戦後80年、平和への誓い新たに
内子町戦没者慰靈祭を挙行

戦争で亡くなつた人を悼み、平和を祈願する「内子町戦没者慰靈祭」が10月7日、内子東自治センターで行われました。

式では小野植正久町長が「戦没者や残されたご遺族の悲しみに思いをはせ、平和の実現に努めたい」と哀悼の言葉を述べ、続いて遺族代表の藤沢利通さんが「私が4歳の時に戦死した父。一緒に過ごし、杯を交わしたかった。戦争は許されない愚かなこと。世も早く平和なほしい」とあいだ。また内子生が追悼の歌列した遺族な花して、10霊の冥福と平した。内子町の本田富雄さん生まれの会員争を知るのがてている。平和世代に引き継いを新たに

戦後80年、平和への誓い新たに
内子町戦没者慰靈祭を挙行



「応援してくれる人たちへの感謝を胸に、正々堂々と競技します」と、元気いっぱいに選手宣誓をする船田さん（左）と中川さん 2_走り幅跳びで力強い跳躍を見せる 3_軽やかにハードルを越えていく選手たち 4_紙一重の接戦を制するのは、果たして――

悼み、平和を祈願する「内子町戦没者慰靈祭」が10月7日、内子東自治センターで行われました。

式では小野植正久町長が「戦没者や残されたご遺族の悲しみに思いをはせ、平和の実現に努めたい」と哀悼の言葉を述べ、続いて遺族代表の藤渕利通さんが「私が4歳の時に戦死した父。一緒に過ごし、杯を交わしたかつた。戦争は許されない愚

も早く平和な日々が来てほしい」とあいさつしました。また内子中学校3年生が追悼の歌を合唱。参列した遺族など68人が献花して、1026柱の御靈の冥福と平和を祈りました。内子町遺族会会長の本田富雄さんは「戦後の生まれの会員が多く、戦争を知るのが難しくなっている。平和の尊さを次世代に引き継ぎたい」と思いを新たにしました。

イベーが運行する「共助型ライドシェア」などが新たにスタート。利用は事前登録制で、自宅近くから目的地まで乗車できます。小野植正久町長は「人口減少下でできる公共交通を求めてきた。利用しながら、より良いサービスに育てたい」と語りました。



上_グループに分かれて意見交換 下_「この会議から
未来を変える第一歩を」と愛媛大学の高橋真教授

「第3次内子町環境基本計画」に基づき、具体的なアクションプランを策定する第1回の住民会議が9月27日、内子自治センターで開かれました。

同計画は内子の豊かな自然や歴史、文化などを守るために、必要な環境施策について定めるものです。会議は全4回、高校生を含む住民が専門家の助言を受け、具体策を話し合います。今回は「脱炭素」

がテーマで、株ウエザーニューズの折野未莉さんがデータに基づく100年後の天気予報など、(有)内藤鋼業の内藤昌典さんがバイオマス発電の取り組みなどを紹介。参加者は解説を受け「脱炭素を伝える伝道師が必要」「公園に手回し発電機を置いて、遊んで学べるとい」などのアイデアを出し合いました。プランは集まつた意見を踏まえ、年度内をめどにまとめられます。

A group of five students in school uniforms (white shirts and dark skirts/pants) are standing on a stage, holding certificates and smiling. The background features a banner with the text "UchikoTown Junior High School" and "English Speech Contest".

新公共交通サービスで外出支援
健康増進や経済活性化にも期待

「第23回内子町中学校英語弁論大会」が9月21日、共生館で開かれました。町内各中学校の代表者6人が、家族とのエピソードや憧れの人物などを題材にスピーチしまし
た。最優秀賞の大程愛華さん(大瀬中3年)は、小学校1年から習っている狂

言について、せりふから自身の生き方を振り返った内容を表情豊かに語りました。審査した愛媛大学准教授の三浦優生さんは「構成や話し方で聴衆の心をつかんでいた。多くの扉を開いてくれる英語に、たくさん触れてほい」と講評を述べました。

「かわらないように、かえてゆく」
環境基本計画の具体策を住民らが議論

中学生が英語で伝える感動、情思
思いを豊かに表現した弁論大会

名月輝く町並みをそぞろ歩き—— 町並保存地区で恒例の観月会



中秋の名月を愛でる「八日市町並観月会」(同実行委員会主催、芳我明彦委員長)が10月5・6の両日、八日市・護国地区の重要伝統的建造物群保存地区で開かれました。当日は輝く月が夜空に浮かび、美しい町並みと人々の笑顔を照らしていました。行灯の柔らかな光でライトアップされた町並みには、2日間で約4,000人が来場。琴や尺八の演奏、はぜとり踊りや月見団子の販売などもあり、風情ある町並みを楽しみながらそぞろ歩きました。



1_「はぜとり唄」に合わせて踊る翠月流の皆さん 2_行灯に照らされた幻想的な町並み 3_行灯に火を灯す 4_高昌寺のお月見茶房で団子に舌鼓 5_芳我明彦さんの琴の音色が通りに響く 6_きれいな行灯に喜ぶ子ども 7_上芳我邸の上に昇る月。格子戸からこぼれる明かりもすてき 8_清正ひろばで月見を楽しむ 9_清正川に並ぶ竹行灯 10,11_手漉き和紙の作品展示会場にて 12_橋本岳人山さんの尺八の演奏



1_図書情報館で本の受け入れ作業 2_うちこ園で利用者とかるた取りをする高本さん(中央) 3_道の駅からりではアイスクリーム販売などを体験

「うちこ版えひめジョブチャレンジU-15」が10月6～10日の間、町内外の事業所で行われました。町内の中学2年生125人が59事業所で仕事を体験。働く楽しさや大変さ、自分の将来について考える機会となりました。

内子町図書情報館では、新刊図書のシール貼り、本棚や書庫の整理などを体験しました。本好きの大野孝暁さん(大瀬

中)は「広くて場所を覚えるのが大変。でもいろんなジャンルに触れられて楽しい」と振り返りました。

介護老人保健施設アンビションうちこ園では、食事の配膳やレクリエーション、車いす乗車体験などを実施。高本梨愛さん(内子中)は「利用者さんとの触れ合いが楽しい。人のお手伝いができる、すてきな仕事だと思

う」と笑顔で話しました。

内子町役場で広報係の仕事を体験。この記事と「図書館へ行こう」の取材・制作を担当しました。



大森すみれさん(内子中)

私たちが
取材しました!

どんな仕事があるんだろう?

中学生の職場体験「ジョブチャレ」

吉田

なぎさ

さん(内子中)



元気いっぱいの園児たち。教室は午後2時から1時間。来年度からは町全域の幼児が入園可能になります。

小田幼稚園で南予初の取り組み 地域と人の魅力を生かした課外授業

小田幼稚園で開園時間外に外部講師を迎えて学ぶ課外授業が、9月22日から新たに始まりました。南予地方の公立幼稚園で初の試みです。

この事業は同園の魅力化に向けて、地域や人の関わりを生かした教育を行うもの。その一環で、町の外国語指導助手を招いた「おだっこチャレンジABC教室」を毎週実施し

ています。10月6日は講師のパトリックさんが食べ物や動物などの英語クイズを出題。園児らはジェスチャーや英語でのやり取りに積極的に挑戦しました。副園長の松本実予さんは「今後は地域の皆さんも講師にを迎える予定。小田の魅力である人の温かさ、豊かな自然の中で育つ素晴らしい」と話しました。